



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



例会記録 2007. 1. 31 (水) 通算1374回

ソング 「我等の生業」 「歓迎歌」

出席報告 1月31日 会員数 59名 欠席者12名 出席率 78.18%
 (この内出席免除者2名, 病欠2名)

1月17日 会員数 59名 欠席者5名 出席率 90.91% <修正による>
 (この内出席免除者2名, 病欠2名)

宝物のワンショット

② クラブ会報委員会

副委員長 ^{はじめ} 元 正章 さん
 [曾根教会 牧師]



本と係り合いの深い人生を歩んで来られた元正章さん(49歳当時)が、奥様公子さんの実家近くにある井上靖記念館で撮影した思い出のワンショットです。

左から ご長男 慎一郎さん(大学二年), 元正章会員, 奥様 公子さん, ご長女 優香さん(大学三年)。

(平成8年撮影)



平成15年4月 桜の咲く頃、元正章会員が夢まで見たキリスト教牧師として初の赴任を実現。

「書籍(本屋さん)」から「人間愛、隣人愛の伝道の道」に華麗なる転進を実現した瞬間のワンショット。

日本キリスト教団 曾根教会を背景に喜びの元正章さん。

(平成15年4月撮影)

プログラム委員会担当

西野将俊県会議員 卓話される

<卓話要旨>



鹿間行雄委員長挨拶



卓話される西野将俊議員

1. 私は、昭和42年(1967年)未歳生まれ。今年、40歳を迎える。この40年を振り返ってみると年男となった時に、不思議と人生選択の岐路に立っている。

2. 三つの人生岐路

第一の岐路=12才。自宅のすぐ前にある松陽中学に入学するか、入学試験を受けて他校に進学するかという選択。ある理由から自主的、主体的に受験の道を選び、神戸市内の私立学校に合格、進学した。

第二の岐路=24才。就職していた日本たばこ産業(株)にそのまま在職し続けるか、親元にUターンするかという選択。

親の気持ちを主体的に汲んで「生まれ故郷高砂」に戻った。

第三の岐路=36才。兵庫県議員に立候補。知人、友人の暖かい支援を得て、政治家の道に入った。

祖父、父に続いて政治家(実は、子供の頃から政治の世界は嫌いで、ずっと避けていた道)となり、天命を感じている。

3. 県議員となり大切にしていること

- ① 人との繋がり ② 選択を要する時の決断力 ③ 一貫くこと

4. 大切にしている言葉(座右の銘)

山高きが故に貴からず

樹あるをもって貴しとなす

会長挨拶

先日「我が青松ロータリークラブ」の酒豪が集まる新年会に出席させていただきました。幹事の田中浩行会員には、色々お気使い頂きまして有難うございました。皆さん、酒が強くかつ好きな方達ばかりなので、飲みながら「ワイワイ・ガヤガヤ」と本当に楽しいひと時を過ごさせて頂きました。「例会は二ヶ月に一度開催」だそうです。飲めない人も楽しめますので、是非一度参加をされることをお奨めします。これぞまさしく『親睦の原点だ』と思います。

話は変わりますが、ロータリークラブに入会された人ならば、必ず一度は聞かされる人物名・ポール・ハリス。ロータリークラブの創設者でもあり、生涯をロータリーの発展に捧げた彼は、1947年1月27日に亡くなっています。78歳でした。そこでR.I.ではその業績をたたえて1月27日を含む一週間を『ポール・ハリス追悼記念週間』と定めています。私も彼(ポール・ハリス)を偲びながら挨拶を終わらせて頂きます。

(クラブ会報委員会よりお詫びと訂正)
 前号の会長挨拶の文章中、「第二1680地区」は間違いで、正しくは「第2680地区」でした。お詫びして訂正致します。

本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆さんで一緒に読み下さい。

会長 志方正昭 幹事 中右和宏 クラブ会報委員長 竹原俊三
 例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)
 事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)

et cetera 委員会報告

中右さん、毎回、美味しい昼食有難うございます。



多くの会員の出席を得て、美味しい昼食を食べながらの懇親のひとつ



西田光衛会員（十輪寺住職）作

第24回 通算1302回 幹事報告

- ガバナー事務所より
第29回R.Y.L.A.セミナー受講生推薦のお願い
期 日：2007年3月22日(木)～25日(日)
場 所：神戸YMCA余島野外活動センター
(小豆島)
参加費：受講生5万円(各クラブ負担)
ロータリアン1万5,000円(1泊3食)
締 切：2月28日(水)
- 和光ロータリーカタログが届いております。
- 2007年-2008年度R.I.テーマが決まりました。
詳しくは、ロータリーインターナショナルの
ホームページをご覧ください。
- 神戸西ロータリークラブより
「ロータリー少年少女キャンプ」の作文集が
届いております。
- こころ豊かな美しい東播磨推進会議より
第113号(東播磨版)が届いております。



いつもお世話下さっている
事務局 野々村さん(右)と
板東さん(左)

Donation ニコニコ報告

西野 勝

本日の卓話、鹿間委員長のはからいにより息子
将俊にさせていただきます。よろしくお願いし
ます。

小西 文孝

西野県会議員さん、ようこそ。春が待ち遠しいで
すね。頑張ってください。

亀本 泰司・濱中 幹雄

本日は西野先輩、卓話楽しみにしています。

岩崎 勇人・菱田 克己・志方 正昭
都倉 達殊・鹿間 行雄・内橋 英昭
柿木 國夫・増田耕太郎・栗原 康高
佐野 栄作・鹿間 虹美

花を飾りましょう。

西中 亮二

菱田さんごちそうさまでした。

竹原 俊三

岡本さん「宝物のワンショット」への写真提供
有難うございました。ご家族全員が「良い顔」
をされている写真でした。
次回号は、元さんが登場です。お楽しみにして
下さい。

バレンタインデーとは

バレンタインデー (St. Valentine's Day)は、2月
14日に祝われ、世界各地で男女の愛の誓いの日と
される。もともと、269年にローマ皇帝の迫害下
で殉教した聖ヴァレンティヌス(テルニのバレン
ティン)に由来する記念日である。

ヨーロッパなどでは花やケーキ、カードなどを恋
人に贈る習慣がある。カードには、「From Your
Valentine」と書いたり、「Be My Valentine」と
書いたりもする。

これは日本とは違い、女性から男性のみとは限ら
ない。

チョコレートを恋人に贈る習慣は、19世紀中期か
ら20世紀初頭のイギリスではじまった。キャドバ
リー社が、2代目社長の時代に、美しい絵のつい
た贈答用のチョコレートボックスを発売した。
キャドバリーは特にバレンタイン専用はこの商品
を開発したわけではなかったが、このチョコレ
ートボックスがバレンタインデーの恋人への贈り物
に多く使われるようになり、後に他の地域にこの
風習が伝わっていった。

あなたの運を開く黄金律 ②

美しい心を持ち、夢を抱き、
懸命に誰にも負けない努力をする人に、
神は「知恵の蔵」から
一筋の光明を授けてくれる

京セラ名誉会長
稲盛 和夫

プログラム予定

2月7日(水)	2月14日(水)	2月17日(土)	2月28日(水)
卓話 辻田 重恵 会員	卓話 鹿間 行雄 会員	東播第2グループ I.M. 〔2月21日例会は〕 〔2月17日に移動〕	【国際奉仕委員会担当】